

クラウド活用で 従業員情報を効率管理

今回のキャスト

社長 藤田 匠、社員 西園寺 千代、専主 伝法院 千里

コロナのもとでもどうにか生産と売り上げを保ったアルパカファーム。次のステップとして事務処理の効率化・低コスト化も図りたい。クラウド活用が視野に入ってきた。

千代 社長、これ先月の売り上げと費用、取引先への出荷量の一覧です。前年同月比の売り上げは今月もプラスです。3カ月連続ですね。

藤田 プラスか、それは安心した。今年は新型コロナウィルスの影響もあって売り上げの変動が大きかったけど、取引先は増えたのにパートとアルバイトのみんなのおかげで今のところ供給は不足なくできてるね。

千代 そうですね、この状況でも辞めたりせずに頑張ってくれたおかげです。世間では緊急事態宣言以降リモートワークが増えたり、働き方が大きく変わりましたからね。うちの農園はパートとアルバイトの6割が既婚の女性ですけど、家庭内の変化が大きいなかでもソーシャルディスタンスを守りながら勤務時の人数を制限してローテーションを組んで解決できました。今後のことを考えても良い方向につながりましたね。

藤田 あれはみんなが知恵を絞ってくれたから出てきた作戦だよ。僕

は規模を縮小しようかと悩んでいたんだ。特に学校が閉鎖して給食用の野菜が必要なくなったときは、それしか選択肢がないと思ってた。でも、パートの竹内さんが「スーパーや道の駅はすごい人が来てる」って教えてくれたから思いとどまったんだよ。生産しつづけた結果、スーパーの販路が倍増したしね。

千代 あのとときはとにかくネガティブにしか考えられなかったですからね。竹内さんだけでなく、全てのメンバーに支えられました。これから秋、冬とさらにうちの農園は忙しくなりますね。

藤田 そうなんだよ、これからが本番。さすがに人手が足りなくなってきましたし、アルバイトを募集しようと思ってるんだ。あと、営業も強化したいから、実はパート・アルバイトのなかから、時短の社員を募集しようかなと思ってる。今はメンバーのスケジュール管理を千代ちゃんが

やっているけど、管理・まとめ役を時短の社員に任せられれば、千代ちゃんももっと自由に営業にも動くようになる。

千代 それは私にとっても嬉しい話ですね。もともと営業は前職でやってましたし、人と関わるのは大好きなので、そういう役割を担えればなとずっと思っていました。

伝法院 藤田社長、千代さん、こんにちは。新しくアルバイトの方を募集するそうですね。すると人事や労務管理の仕事も増えることになる。そういえば年末調整の時期も迫っています。アルパカファームでも人事労務関連のソフトをいくつか使っているはずですが、事務の仕事をもっとスムーズに進めたいと思ったことはありませんか。じつは、こうした従業員情報を一元管理できるクラウドツールの種類が増えています。社会保険など電子申請義務化の流れは、今後さらに進みます。クラウドツールは、こうした環境変化にもしつかり対応してですよ。

今回の執筆者

矢萩 初美

(有)人事・労務パートナー／
行政書士／
903シティファーム
推進協議会委員長



明治学院大学国際学部卒業後、総合物流会社を経て行政書士として独立。NPOの設立支援や運営サポートなどコミュニティ創りを支援している。次代に持続可能な農と食を残していくため903シティファーム推進協議会を自ら設立。次世代の農業経営者を応援する「ローカルとつながる田心マルシェ」も開催。

▶ 社会保険・労働保険手続き、年末調整をクラウド化する ◀

2020年4月から、資本金1億円以上など特定の法人について、社会保険・労働保険に関する一部の手続きの電子申請が義務化されました。また、新型コロナウイルス感染症対策の自粛要請、否応なしに働く形が変わり、社会保険・労働保険手続きのアウトソーシングをお考えの経営者が増えています。私どもは、そんなアウトソーシングをお考えの経営者へ、まずは「自計化」の検討をお伝えしています。

自計化で低コストな会社情報一元管理

クラウドツールの導入により、いくつもの手続き窓口への移動・待ち時間から解放されます。インターネットが繋がればどこでも手続きが可能。役所の申請書類の書式変更や法改正など、自動で最新情報にアップデートされるため、間違いが起きにくいというのも特徴のひとつです。

クラウドツールを導入し、手続きや給与計算、勤怠集計に関する業務の効率化を図ったうえで、自社内でこれら業務を行なう。この自計化を実現することで、リアルタイムの組織の見える化が促進され、迅速な経営判断を後押ししてくれます。

自計化は、新たな業務フローへと“改革”していくわけですので、経営者やご担当者の強い意志が必要です。現在の給与計算・入退社・従業員台帳管理のフローを調査し、徐々にプロセス改善を図り、新しい省力化されたフローに変えていきます。

ツールの組み合わせにより自計化が目指せるいま、業務を内製化した方が、アウトソーシングよりコストが安く抑えられますし、会社情報の一元管理・データ活用へもスムーズに移行できます。アウトソーシングをゴールとするのは時代に逆行した流れ。自計化＝新たな業務フローの構築を目指してみたいかがでしょうか。

電子申請の義務化により、クラウドサービスの種類が増えました。経営者としては、どのクラウドツールを選んでよいか分からない、何から着手したらよいか分からない、という声をよくお聞きします。そこで、社会保険・労働保険手続き、そして年末調整など、クラウドツールの一例を紹介しましょう。

課題に合わせて最適なツールを選択

■ 労務管理・年末調整に関するクラウドツール
【SmartHR】(月額500円/人)

30名以下または300名以上の組織向け労務管理システム。まずは従業員本人が自身のパソコンやスマートフォンを使用し、住所やマイナンバーなどの情報を入力しま



す。すると、その情報がリアルタイムに集約され、クラウド上に従業員台帳が生成されます。会社は、その情報を活かし、社会保険や労働保険に関する手続きを電子申請することができます。

年末調整機能が充実しており、情報を入力する従業員にとっても、それを管理する事業者にとっても、非常に分かりやすい仕様となっています。

対応可能な電子申請の種類は多くありませんが、入退社があまりない事業者や逆に従業員数多く情報の管理が煩雑な企業にとって、使うメリットが大きいツールだと言えます。

【オフィスステーション労務】(月額200円~/人)

一定の知識をお持ちの人事担当者がいらっしゃる組織向け労務管理システム。収集した従業員情報を人事担当者がシステムへ入力します。その情報を活かし、社会保険や労働保険に関する手続きを電子申請することができます。

そのほかにも、入退社手続き、給付金や扶養追加など、対応可能な電子申請の種類が多いのが特色。従業員情報や手続き進捗を一元管理できるので、すぐに人事担当者の業務効率の向上・コスト削減へとつながるツールだと言えるでしょう。

SmartHR同様の年末調整機能も追加可能です(年間400円/人)。労務管理、年末調整、web明細、有給休暇管理など組織の課題に応じて機能を追加していくことができ、初期費用を抑えて使用できます。

■ 給与計算に関するクラウドツール

【マネーフォワードクラウド給与】(法人向け3,980円~/月)、【人事労務free】(23,760円~/年)

従業員情報が連携された給与計算システム。入力の二度手間もなく、ヒューマンエラーが発生するリスクも抑えられます。給与明細web化で明細書の作成や郵送などの時間とコスト削減も図れます。勤怠管理システムの導入で、集計作業も不要となり、さらに給与計算業務の効率化が望めます。